

令和5年度 都立総合工科高等学校 定時制課程 年間授業計画

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2
対象学年・組・コース	第 1 年 1 組	教科担当者	紫垣 紗和 / 眞木 佐智子		
使用教科書	『高等学校 標準 現代の国語』（第一学習社）				
使用補助教材	『改訂版 漢字検定 7～2級対応 書きたくなる アシスト常用漢字』（数研出版う）				
教科『国語』の目標					
【知識及び技能】	社会生活に必要な国語を適切に使うことができるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】	社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。				
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
科目『現代の国語』の目標					
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、考えを深めることができる。	生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話	書	読					
1 学 期	話して伝える スピーチで自分を伝える・相手に伝わる案内をする ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法や目的を的確に達成できる案内の仕方を身に付ける。 【知】【思】 ・スピーチを聞き、自分の話し方に活かしたり、相手や状況に応じて表現したりしようとする。 【学】	・題材を決め、原稿を作る。 ・スピーチをし、相互評価する。 ・評価を受け、内容を練り直し、再度スピーチし、その内容を相互評価する。 ・設定されたテーマについて、原稿を作成する。 ・原稿に対する評価を行う。 ・原稿作成に端末を利用する。	○			・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法や相手に配慮しながら目的を的確に達成できる案内の仕方を理解し、実践している。【知】【思】 ・他の人のスピーチを聞き、自分の話し方に活かそうとしている。 ・わかりやすい案内をしようとしている。【態】	○	○	○	9
	書いて伝える 書き方の基礎レッスン・身近な製品の取扱説明書を作成する ・表記や表現の基本ルールを身に付ける。【知】 【思】 ・わかりやすい説明ができるようにする。【学】	・教科書を使用 ・表記や表現の基本ルールを理解する。 ・説明の仕方を工夫する。 ・端末を用いて、ホチキスの取扱説明書を作成し、相互評価する。	○			・表記や表現の基本ルールを理解できている。【知】 ・わかりやすい説明ができている。【思】 ・わかりやすい説明をしようとしている。【態】	○	○	○	8
	人間と文化 『水の東西』 山崎正和 ・対比に着目して要旨を把握し、自分の意見を論述できる。【知】【思】 ・文化について考えを深める。【学】	・教科書を読み、対比構造を用いた叙述方法を把握する。 ・端末で水を用いた芸術や仕掛けについて調べる。 ・論旨を把握し、意見文を書く。	○			・対比を用いた叙述方法を理解している。【知】 ・自分の意見を適切に述べている。【思】 ・文化について考えを深めようとしている。【態】	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
2 学 期	話して伝える 話し方の工夫・待遇表現・論理的な表現 ・受け手に伝わる表現や場に応じた表現、主張と理由の関係性や妥当性を理解し、使うことができる。 【知】【思】 ・受け手が理解しやすく、説得力のある表現をしようとする。【学】	・教科書を使用 ・話し言葉と書き言葉、相手や目的及び場面に応じた言葉遣い、待遇表現、論理的な表現のための要素について理解する。	○			・話し言葉と書き言葉、場面に応じた表現について理解している。【知】 ・場面に応じた話し方を判断し、表現できる。【思】 ・進んで受け手が理解しやすい表現をしようとしている。【態】	○	○	○	9
	書いて伝える 地域の魅力を紹介する ・情報を収集・整理し、的確に紹介する方法を身に付ける。 【知】【思】 ・魅力が伝わる紹介をしようとする。【学】	・地域の紹介文を作成し、発表する。 ・発表内容を相互評価する。 ・端末を用いて、自分が住む地域の魅力を調べる。	○			・情報を収集・整理し、的確に紹介する方法を理解している。【知】 ・わかりやすく魅力が伝わる紹介ができている。【思】 ・わかりやすく魅力が伝わる紹介をしようとしている。【態】	○	○	○	6
	世界を広げる『なぜ本を読むのか』又吉直樹 ・両者を把握する方法を自	・教科書を読み、本文の要旨を把握する。 ・読書の効用について 策				・論旨を把握する方法を理解している。【知】 ・自分の意見を適切に論述でき				

令和5年度 都立総合工科高等学校 定時制課程 年間授業計画

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2
対象学年・組	第 2 年	1 組	教科担当者	紫垣 紗和 / 眞木 佐智子	
使用教科書	『新編 言語文化』(数研出版)				
使用補助教材	『級別漢字学習』(とうほう)				
教科『国語』の目標					
【知識及び技能】	社会生活に必要な国語を適切に使うことができるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】	社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。				
【学びに向かう力、人間性等】	言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				
科目『言語文化』の目標					
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化に関することを身に付ける。	表現したいことを明確にして効果的に文章を書いたり、読み取った内容的確に解釈し、我が国の言語文化について考えを深める。	我が国の言語文化に関心を持ち自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当時数	
			書	読						
			古典	近代						
1 学 期	詩歌を味わう 『サーカス』 中原中也 【知】 詩に凝らされた工夫について理解する。 【思】 詩中の人物の思いや表現の効果について考える。 【学】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組む。	・教科書を使用 ・詩に凝らされた工夫について理解し、自身がこれまで目にした詩について、体験などをもとに考えをまとめる。 ・詩に関する調べ学習で端末を使用する。	○			【知】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 【態】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組んでいる。	○	○	○	5
	古典に親しもう 【知】 歴史的仮名遣いについて理解する。 【思】 現代の言葉との違いや共通点について考える。 【学】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組む。	・教科書を使用 ・いろは歌や有名な古典作品の冒頭を、現代の言葉の違いに気をつけながら読み味わう。	○			【知】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思】 文章表現の特色について評価している。 【学】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組んでいる。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	古文の世界を楽しむ「児のそら寝」『宇治拾遺物語』 【知】 口語と文語の違いについて理解する。 【思】 動作主がよく省略されることに注意し、話の展開を考える。 【学】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組む。	・教科書を読み、歴史的仮名遣いの基本知識をおさえる。 ・この説話のおもしろさについて考える。	○			【知】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【態】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組んでいる。	○	○	○	5
	地域の「ことば」『とんかつ』 三浦哲郎 【知】 「とんかつ」が登場人物にとってどのような意味合いを持っているのか、文脈の中で理解する。 【思】 方言が用いられていることに着目し、そのもたらす効果について考える。 【学】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組む。	・教科書を読み、登場人物の心情や方言がもたらす効果について理解する。 ・地域の方言について調べ、印象や特徴などについてまとめる。 ・調べ学習に端末を使用する。	○			【知】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思】 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 【態】 進んで内容を解釈し、課題に沿って学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
	日本語の中に生きる漢文 訓読のきまり・格言 【知】 訓読のルールについて理解する。 【思】 訓読の方法を格言の読みとり活かし、その価値について考える。	・教科書を使用 ・訓読のルールについて理解する。 ・格言に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえる。	○			【知】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 【思】 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○	○	3

都立総合工科高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

令和5年4月1日

学年	3	教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	区分	必修修
----	---	----	----	----	------	-----	---	----	-----

教科書	『新編 現代文B』（東京書籍）
-----	-----------------

副教材	『級別漢字学習』（とうほう）
-----	----------------

担当教諭氏名	紫垣 紗和 / 眞木 佐智子
--------	----------------

教科・科目の目標・ねらい
<ul style="list-style-type: none"> ①漢字や語句を中心に、基礎的な語彙力を身に付ける。 ②進学や就職試験に対応するための国語常識を学ぶ。 ③様々な種類の文章に触れ、基礎的な読解力を養う。 ④平易な作文や小論文を書くための表現力を身につける。

評価のねらい・観点
<ul style="list-style-type: none"> ①関心・意欲・態度…真面目に授業に取り組み、提出物や出席状況が良好である。 ②聞く力・話す力…授業者や、他の生徒の発言にしっかりと耳を傾けている。積極的に発言している。 ③書く力…原稿用紙を正しく使い、適切な表現方法で文章を書くことができる。 ④読む能力…文章の内容を正しく理解し、自分の考えの幅を広げている。 ⑤言語についての知識・理解・技能…漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。

	予定時数	指導内容	
		教科書	級別漢字学習
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> ①随想「さくらさくらさくら」俵万智 ②小説「旅する本」石田衣良 ③評論「生命とは何か」長沼毅 ④小説「ナイン」井上ひさし ⑤作文・小論文の書き方 ⑥読書案内 	5級③④を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> ①詩歌「一つのメルヘン」中原中也 ②評論「安心について」廣淵升彦 ③小説「山椒魚」井伏鱒二 ④短歌 作文・小論文 	5級⑤、4級①を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> ①働くよろこび「楽に働くこと、楽しく働くこと」小関智弘 ②作文・小論文 	4級②を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施
学年計	70		

その他
①各回の定期考査の成績 ②提出物や小テストの結果 ③出席状況や授業態度を考慮して総合的に評価する。

都立総合工科高等学校 定時制 令和5年度 年間指導計画

令和5年4月1日

学年	4	教科	国語	科目	現代文B	単位数	2	区分	必履修
----	---	----	----	----	------	-----	---	----	-----

教科書	『新編 現代文B』（東京書籍）
-----	-----------------

副教材	『級別漢字学習』（とうほう）
-----	----------------

担当教諭氏名	紫垣 紗和 / 眞木 佐智子
--------	----------------

教科・科目の目標・ねらい
<ul style="list-style-type: none"> ①漢字や語句を中心に、基礎的な語彙力を身に付ける。 ②進学や就職試験に対応するための国語常識を学ぶ。 ③様々な種類の文章に触れ、基礎的な読解力を養う。 ④平易な作文や小論文を書くための表現力を身につける。

評価のねらい・観点
<ul style="list-style-type: none"> ①関心・意欲・態度…真面目に授業に取り組み、提出物や出席状況が良好である。 ②聞く力・話す力…目的や場面に応じて、適切に話したり、聞いたり出来る。 ③書く力…筋道を立てて文章を書き、自分の考えを表現することができる。 ④読む能力…文章の内容を正しく理解し、自分の考えの幅を広げている。 ⑤言語についての知識・理解・技能…漢字や語句の意味を理解し、適切に使うことができる。

	予定時数	指導内容	
		教科書	級別漢字学習
1 学期	24	<ul style="list-style-type: none"> ①評論「最初のペンギン」 茂木健一郎 ②評論「言葉は世界を切り分ける」 今井むつみ ③小説「みどりのゆび」 吉本ばなな ④作文・小論文 	4級②③を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施 進路対策を実施
2 学期	28	<ul style="list-style-type: none"> ①評論「思考の肺活量」 鷲田清一 ②小説「カンガルー日和」 村上春樹 ③小説「山月記」 中島敦 ④詩歌「竹」 萩原朔太郎 ⑤表現活動 心に残った詩について発表する 	4級④⑤を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施 9月中旬ごろまで進路対策を実施
3 学期	18	<ul style="list-style-type: none"> ①随想「カフェの開店準備」 小池昌代 ②作文・小論文 	4級⑥を重点的に学習 漢字検定対策2～7級を実施
学年計	70		

その他
①各回の定期考査の成績 ②提出物や小テストの結果 ③出席状況や授業態度を考慮して総合的に評価する。